

衆議院財務金融委員会ニュース

平成 21.4.8 第 171 回国会第 14 号

4 月 8 日（水）第 14 回の委員会が開かれました。

1 石田財務副大臣から就任の挨拶が行われました。

2 金融に関する件(破綻金融機関の処理のために講じた措置の内容等に関する報告(平成 20 年 6 月報告及び 12 月報告))
・与謝野国務大臣(金融担当大臣)から説明を聴取しました。

3 財政及び金融に関する件

・与謝野財務・金融担当大臣、竹下財務副大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

(参考人) 日本銀行理事 山本 謙三君
日本銀行理事 中 曾 宏君

(質疑者及び主な質疑内容)

広津素子君(自民)

- ・平成 21 年度末における我が国の債務、純債務及び国民 1 人当たりの純債務の見込額はいくらになるか。
- ・環境税導入に際しては、国民経済や産業の国際競争力に与えるマイナスの影響について、所要の緩和措置を講じる必要があるのではないか。
- ・環境税を導入する場合、既存のエネルギー関係諸税や諸外国における導入状況から見て、どの程度の課税水準が考えられるか。

古本伸一郎君(民主)

- ・白川日銀総裁が経済成長率見通しを下方修正する可能性を示唆したことを踏まえ、今後の経済対策と経済成長戦略について大臣はどのように考えるか。
- ・住民税を前年所得課税から現年所得課税に変更すべきと考えるが、大臣の所見を伺いたい。
- ・経済対策において、自動車の買い替えへの補助金制度(スクラップ・インセンティブ)の導入が検討されているようだが、環境政策と産業・雇用政策のどちらの観点から導入するのか。また、自動車以外の省エネ家電にも導入する必要があるのではないか。

階 猛君(民主)

- ・金融庁発表の「金融円滑化のための新たな対応について」のうち、特に、「金融円滑化のための特別ヒアリング、集中検査の実施」「金融機能強化法の活用促進」及び「コベナンツ対応の弾力化の促進」についてそれぞれ趣旨を伺いたい。
- ・銀行等保有株式取得機構による銀行株式買取りが再開されたが、利用状況の低さから言っても政府保証枠は大きすぎたのではないかと。また、日銀による銀行株式買取りは中止してもよいのではないかと。
- ・追加経済対策の規模について、GDP 比 2% 超(10 兆円)とも言われているが、これは G20 における大臣とガイトナー米国財務長官との会談と関係があるのか。

佐々木 憲 昭君(共産)

- ・貨幣乗数の動向を踏まえ、依然として中小企業向け貸出が低迷している原因についてどう考えるか。
- ・融資が受けられなかったという理由で、採用内定者の内定を取消した企業の事例について、金融面からの見解を伺いたい。
- ・銀行(特に大手行)の中小企業に対する融資姿勢を是正する必要があるのではないか。

4 金融商品取引法等の一部を改正する法律案(内閣提出第 49 号)

資金決済に関する法律案(内閣提出第 50 号)

・与謝野国務大臣(金融担当大臣)から提案理由の説明を聴取しました。